

設問別集計グラフ

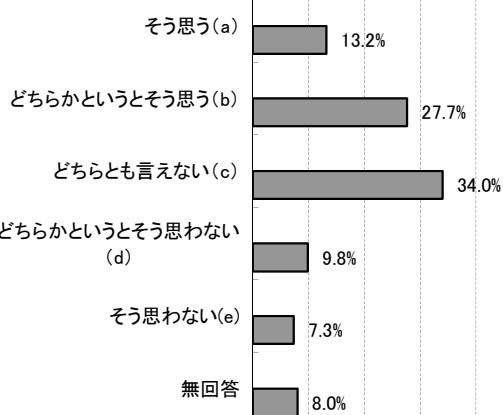
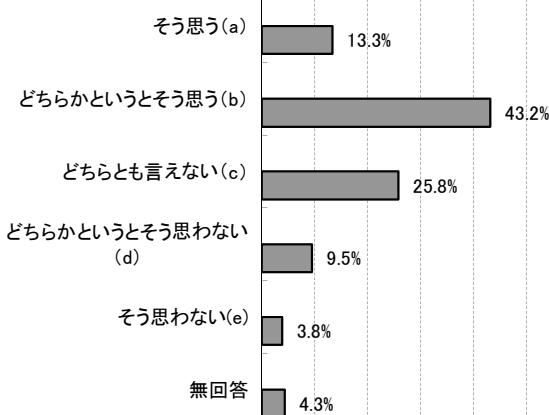
調査表A

環境

環境

Q1. 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。

Q2. 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。

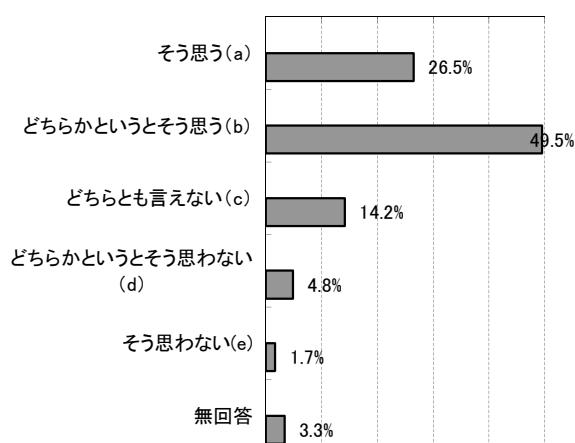
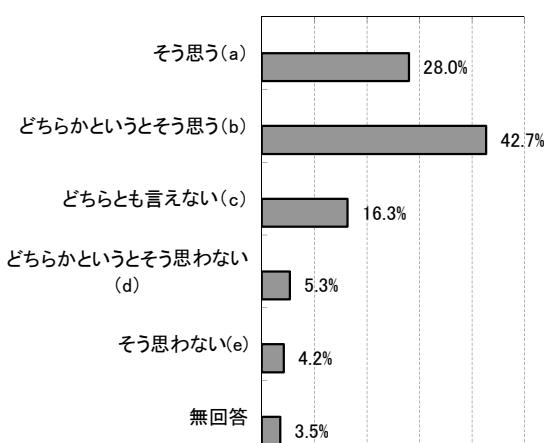
回答者数600
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%回答者数600
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

環境

環境

Q3. マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。

Q4. ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。

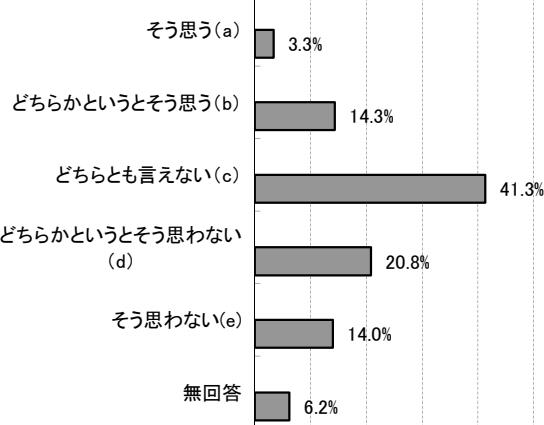
回答者数600
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%回答者数600
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

人権・男女共同参画

Q5. いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

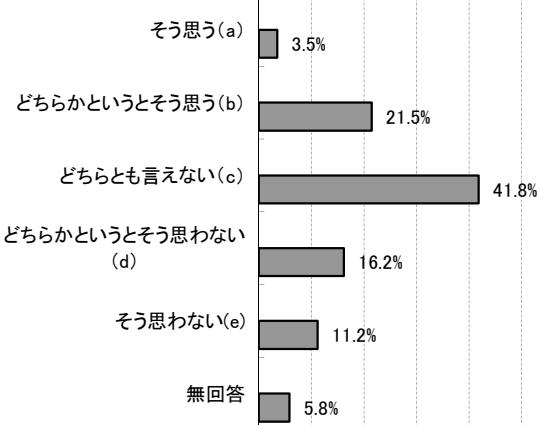


人権・男女共同参画

Q6. 女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

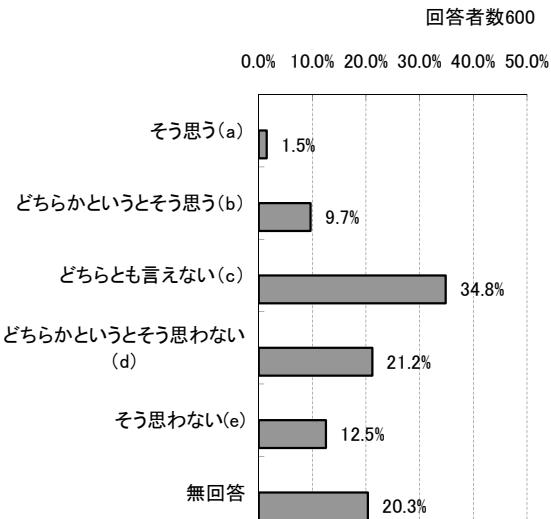
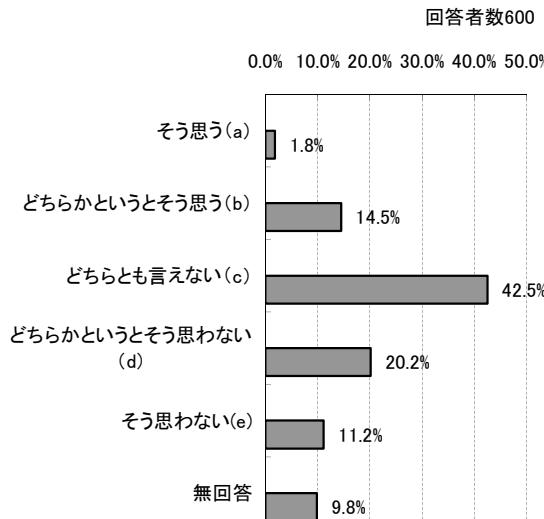


青少年の成長と参加

Q7. 青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が生かされている。

青少年の成長と参加

Q8. 青少年がニート、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。

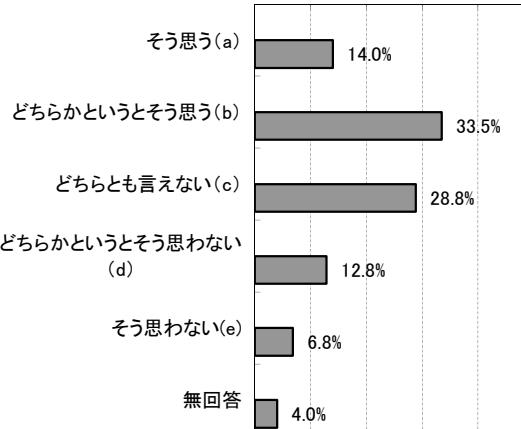


市民生活とコミュニティ

Q9. 町内会・自治会などの地域の組織の活動が盛んである。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

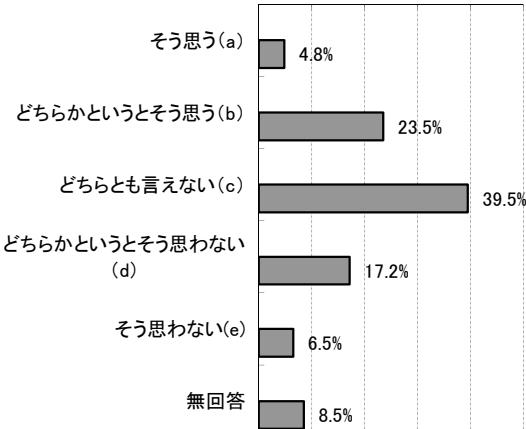


市民生活とコミュニティ

Q10. 地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

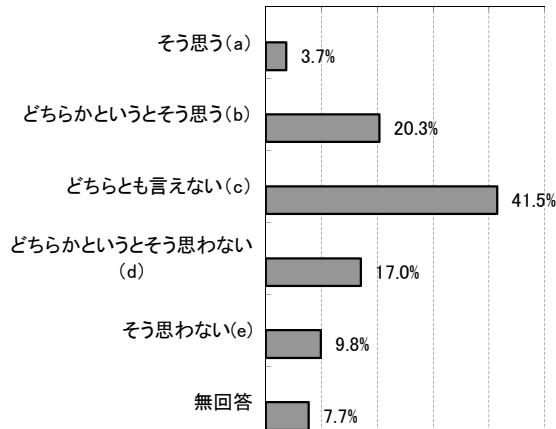


市民生活とコミュニティ

Q11. 町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

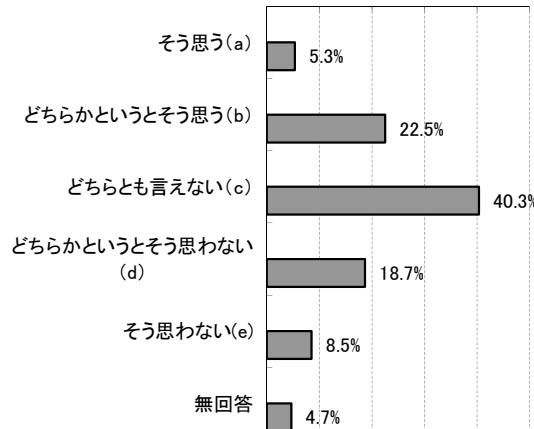


生活の安全

Q12. 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



生活の安全

Q13. 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

そう思う(a)

6.7%

どちらかというとそう思う(b)

33.3%

どちらとも言えない(c)

36.5%

どちらかというとそう思わない(d)

12.8%

そう思わない(e)

6.7%

無回答

4.0%

文化

Q14. 市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

そう思う(a)

6.7%

どちらかというとそう思う(b)

29.2%

どちらとも言えない(c)

38.0%

どちらかというとそう思わない(d)

13.2%

そう思わない(e)

6.7%

無回答

6.3%

文化

Q15. 文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。

スポーツ

Q16. プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

そう思う(a)

14.7%

どちらかというとそう思う(b)

41.0%

どちらとも言えない(c)

26.5%

どちらかというとそう思わない(d)

8.2%

そう思わない(e)

4.8%

無回答

4.8%

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

そう思う(a)

3.7%

どちらかというとそう思う(b)

12.8%

どちらとも言えない(c)

28.8%

どちらかというとそう思わない(d)

25.5%

そう思わない(e)

22.8%

無回答

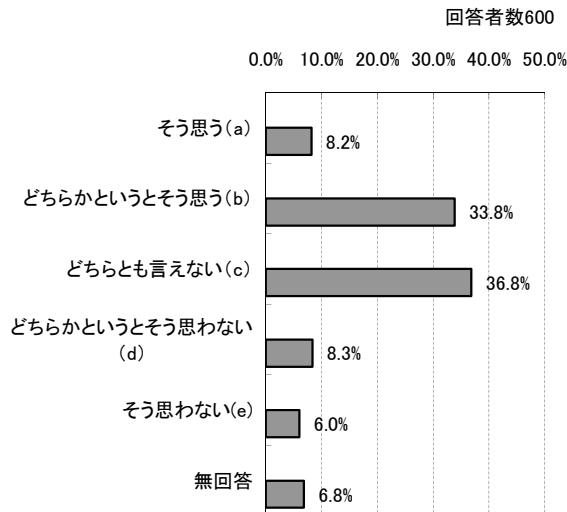
6.3%

産業・商業

産業・商業

Q17. 京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。

Q18. 京都の特色を生かした産業活動が行われている。

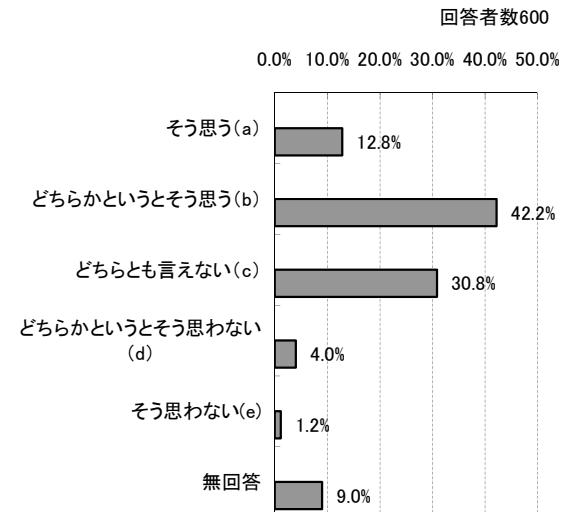
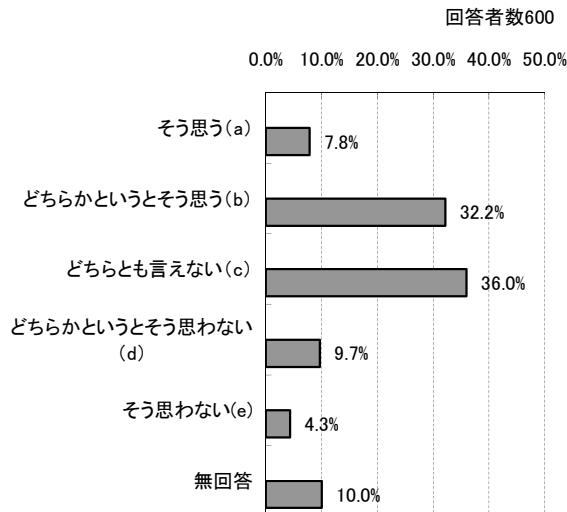


産業・商業

産業・商業

Q19. 京都では、産業界・大学・行政などが連携して、企業の誘致や事業環境の整備を進めている。

Q20. 京都の卸売市場は、安全・安心な生鮮食品の提供に役立っている。

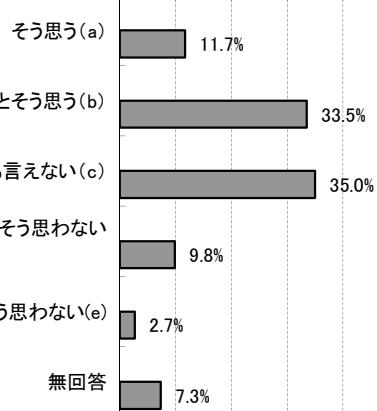


観光

Q21. じっくり滞在し、ほんものとふれあい、歩いて楽しむ観光客が増えている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

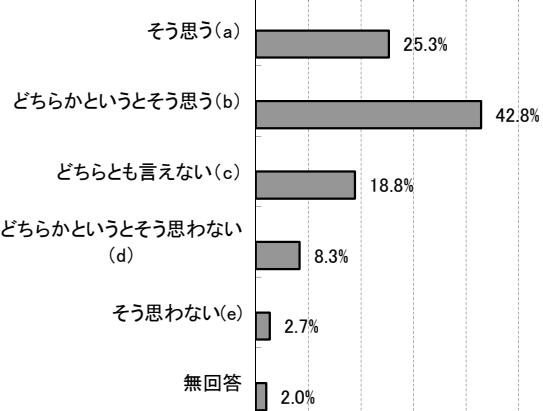


観光

Q22. 京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

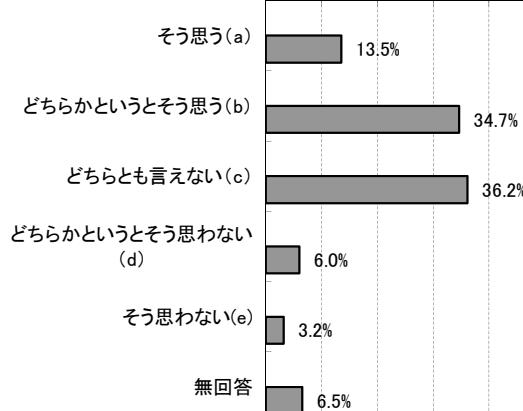


観光

Q23. 子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

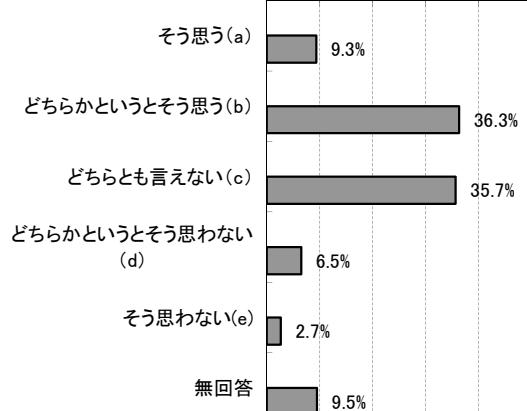


観光

Q24. 京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE都市になってきている。

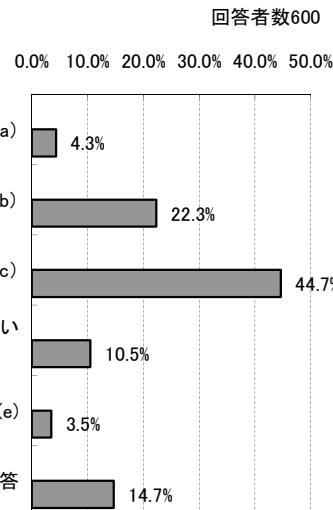
回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



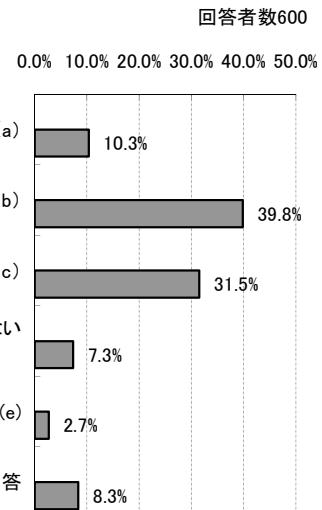
農林業

Q25. 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。



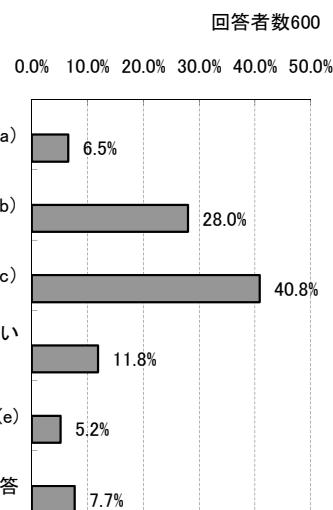
大学

Q26. 京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。



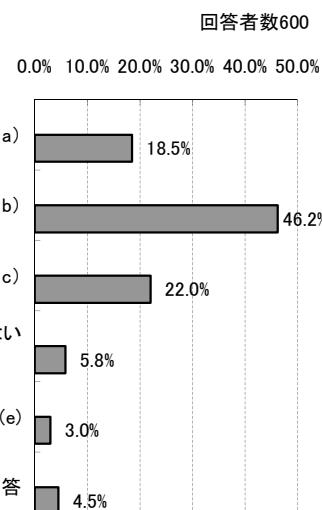
大学

Q27. 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。



国際化

Q28. 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。



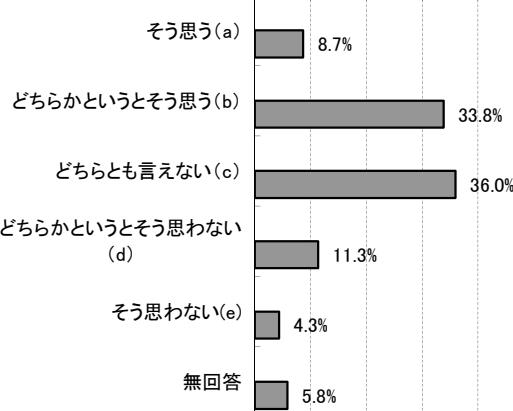
国際化

子育て支援

Q29. 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合
い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。

回答者数600

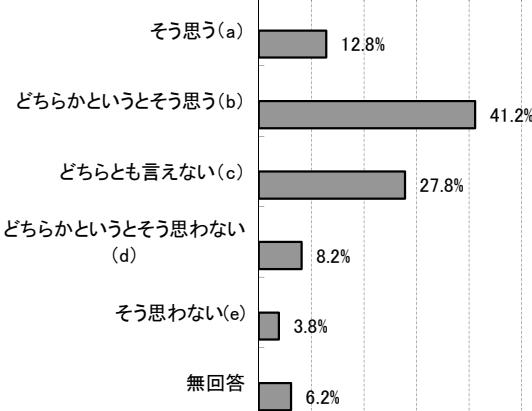
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



Q30. 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



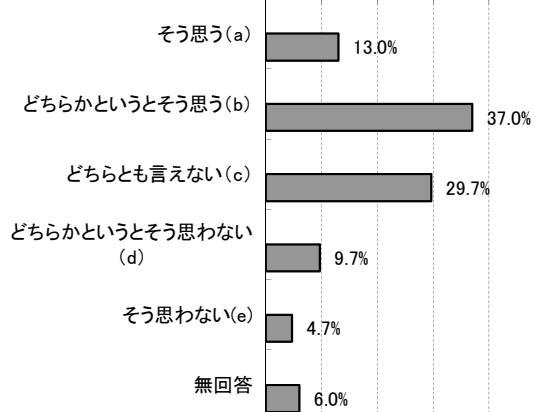
子育て支援

子育て支援

Q31. 必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを生み育てることができる。

回答者数600

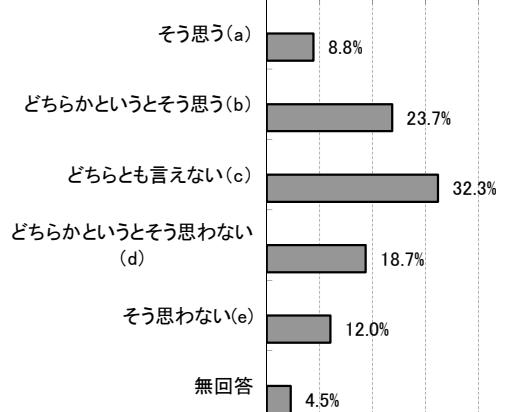
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



Q32. 子どもたちが安心して過ごせる居場所や遊び場
が身近にある。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

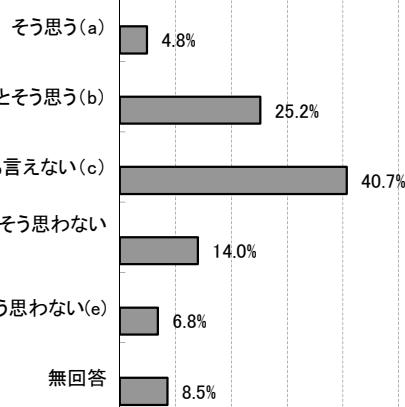


障害者福祉

Q33. 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

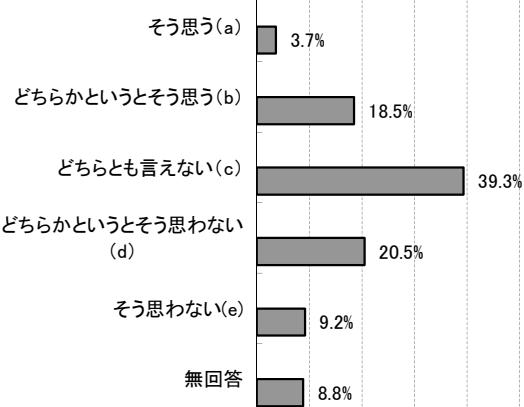


障害者福祉

Q34. 働く場で、障害のあるひとがいきいきと働く姿を多く見かけるようになっている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

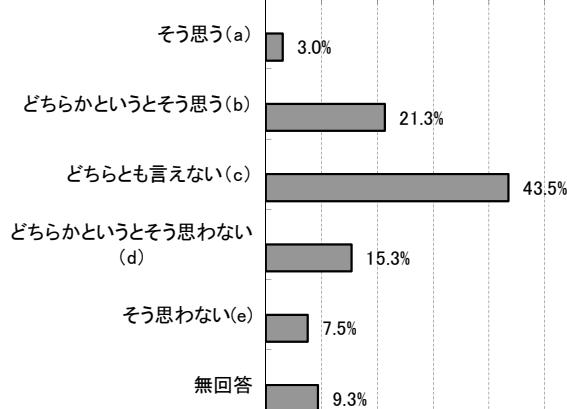


地域福祉

Q35. 地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

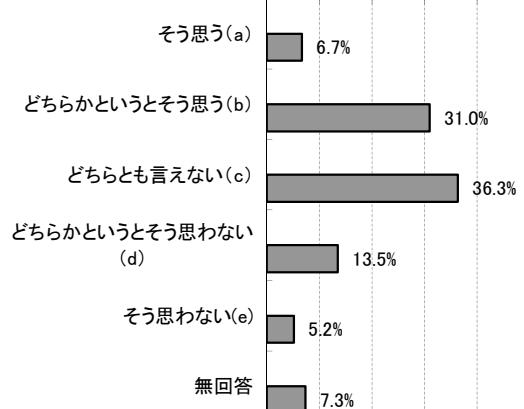


地域福祉

Q36. 地域のつながりが福祉活動や防犯・防災の取組に役立っている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

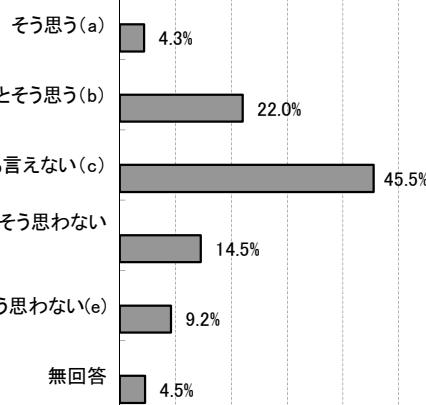


高齢者福祉

Q37. 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送っている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

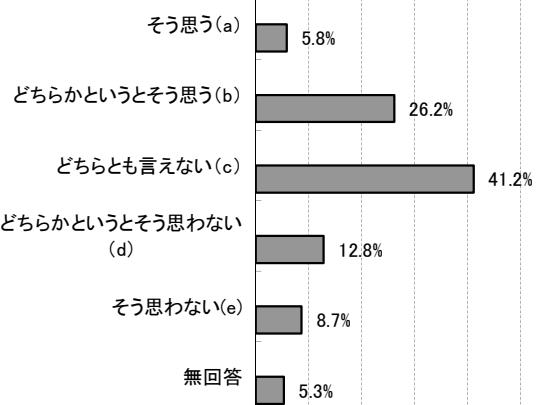


高齢者福祉

Q38. 介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしく暮らしを送っている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



保健衛生・医療

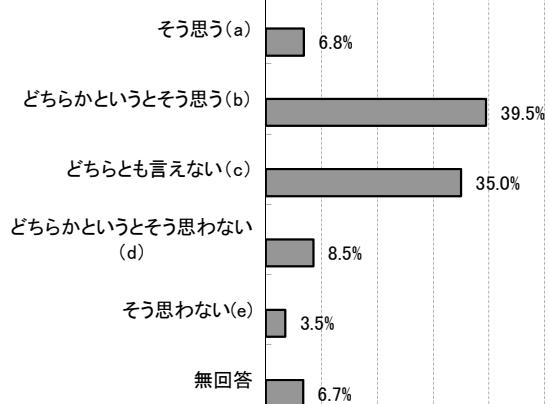
Q39. 正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。

保健衛生・医療

Q40. 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。

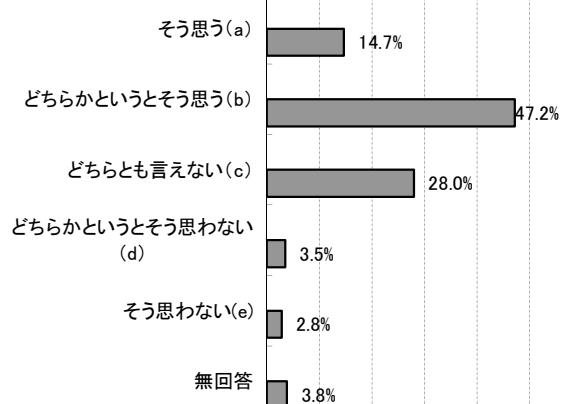
回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

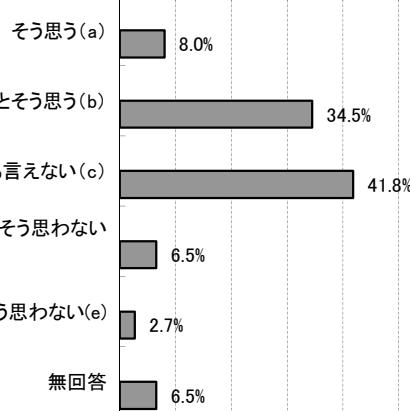


保健衛生・医療

Q41. 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

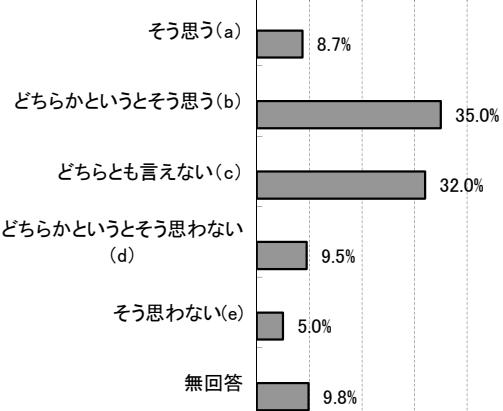


学校教育

Q42. 安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

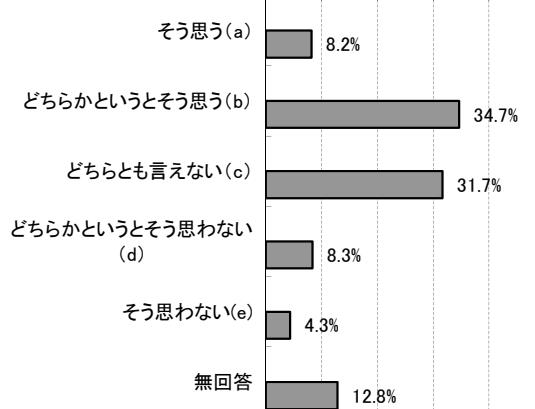


学校教育

Q43. 子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

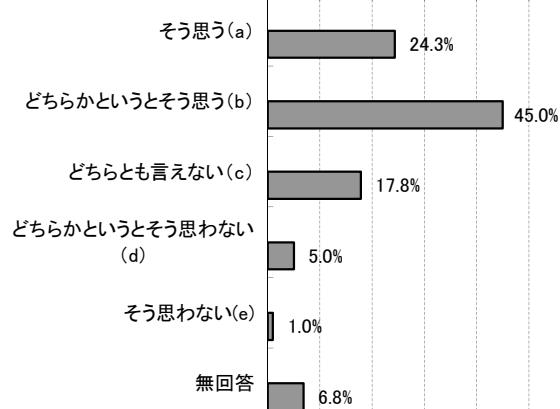


生涯学習

Q44. 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



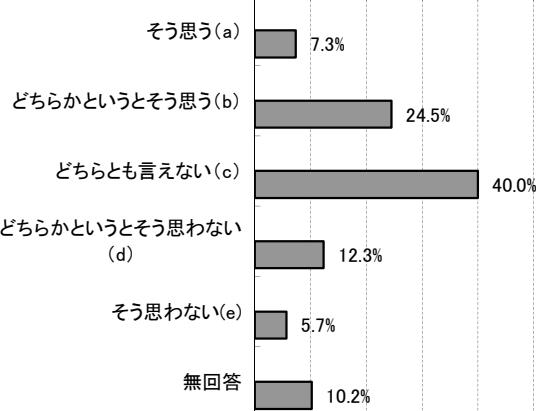
生涯学習

歩くまち

Q45. 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。

回答者数600

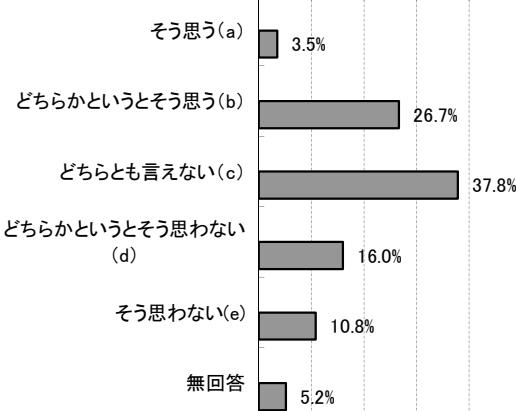
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



Q46. 京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル(くらし方、生き方)が大切にされている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



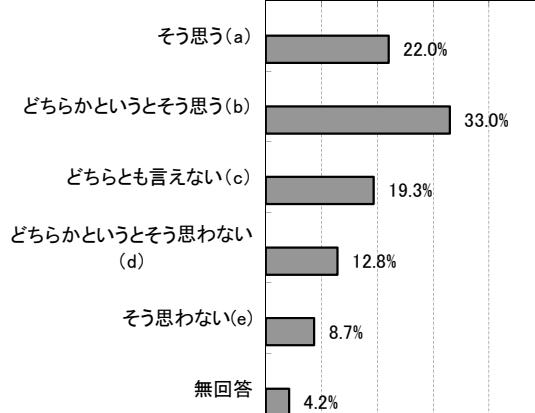
歩くまち

歩くまち

Q47. 京都での移動には、公共交通が便利である。

回答者数600

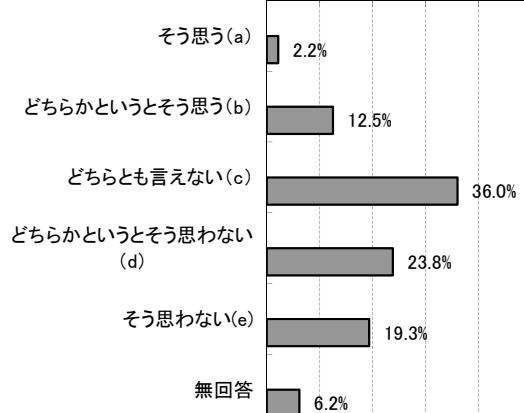
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



Q48. まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

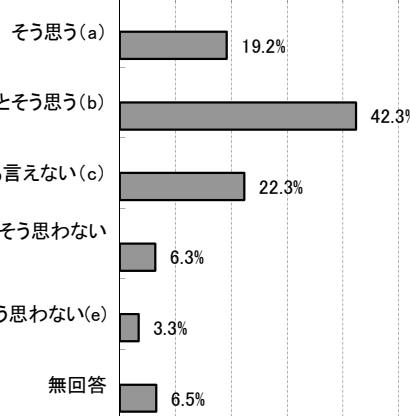


都市機能

Q49. 田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

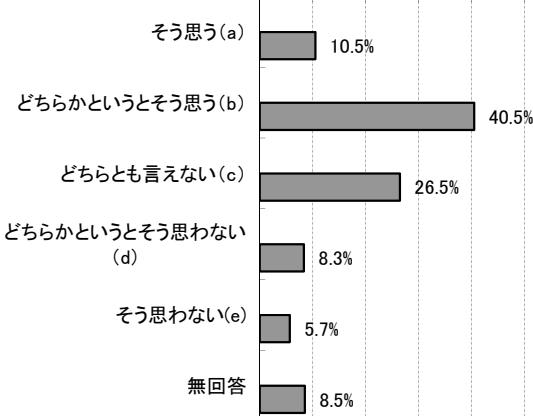


都市機能

Q50. 京都のまちの南部地域が発展してきている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

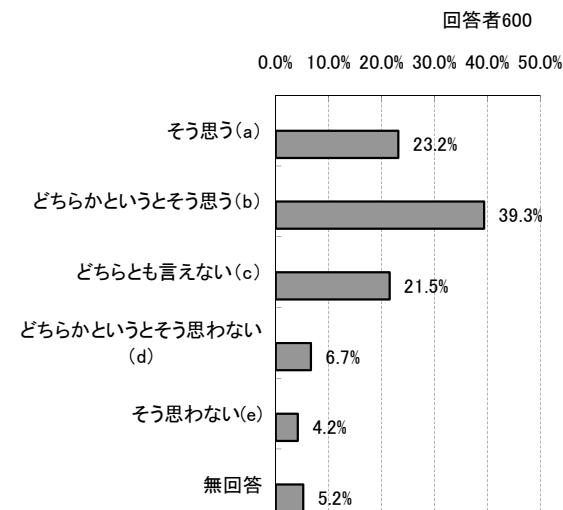
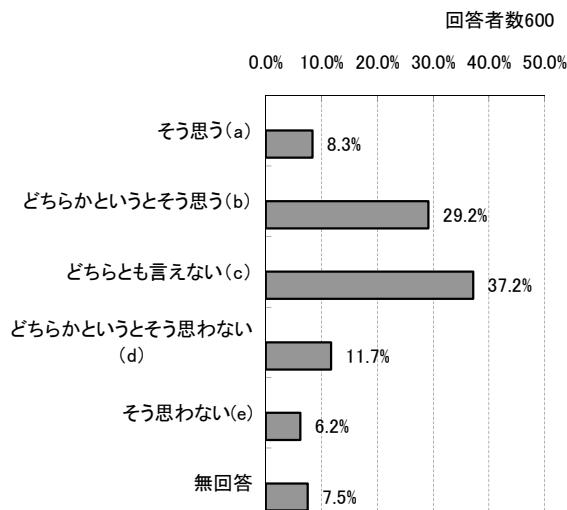


都市機能

Q51. 身近な地域が魅力的になっている。

景観

Q52. 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。



景観

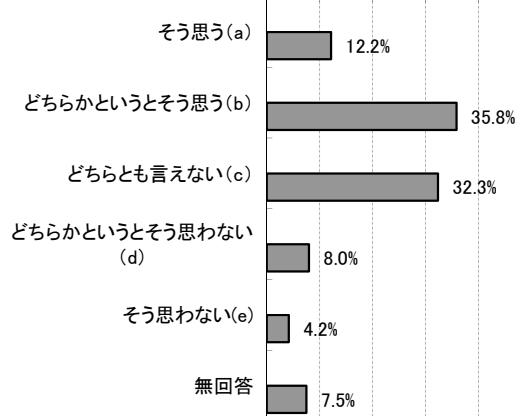
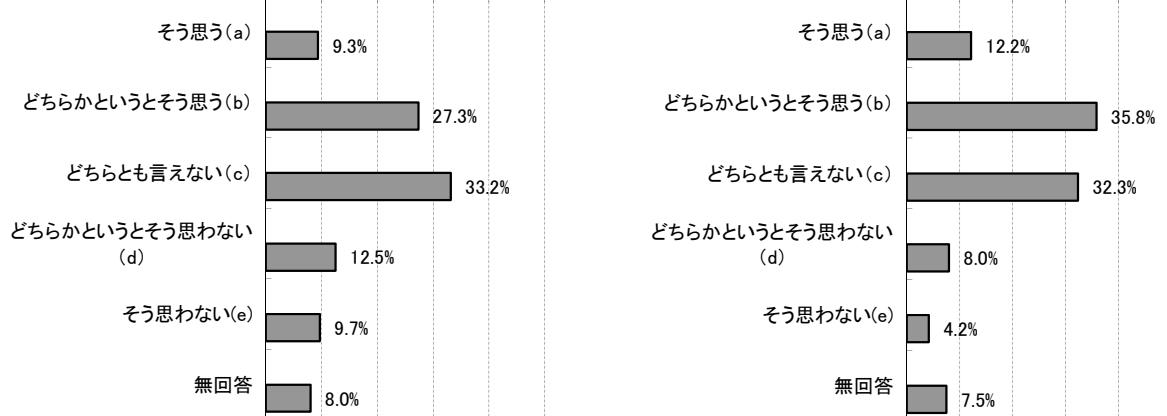
建築物

Q53. 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。

Q54. 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。

回答者数600

回答者数600



建築物

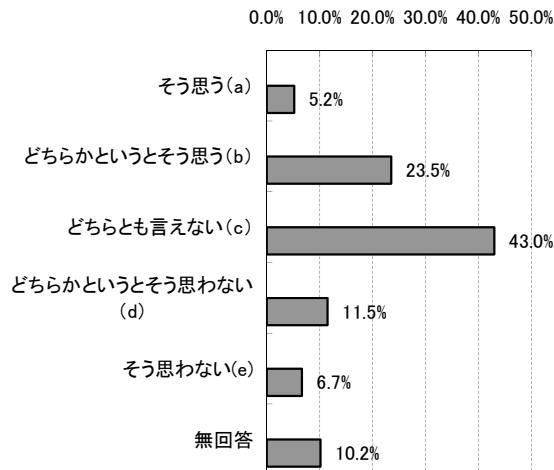
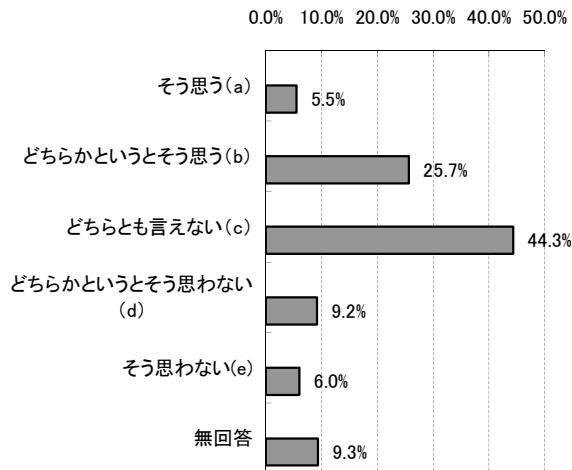
住宅

Q55. 地震や火災に強い建物が増えている。

Q56. 長く大切に使える住宅が増えている。

回答者数600

回答者数600



住宅

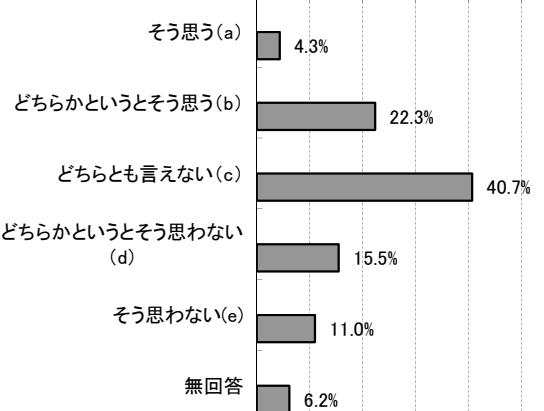
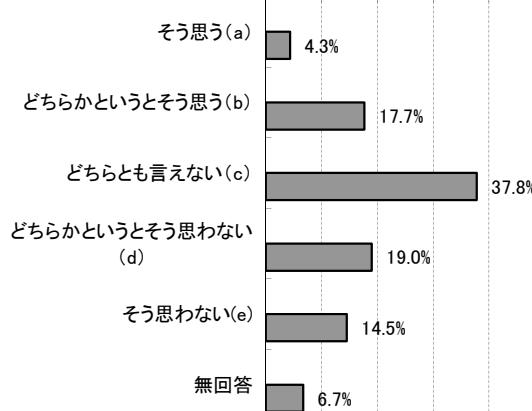
道と緑

Q57. 身近な地域で空き家が減っている。

Q58. 災害時も安全に移動できる道路網ができている。

回答者数600

回答者数600



道と緑

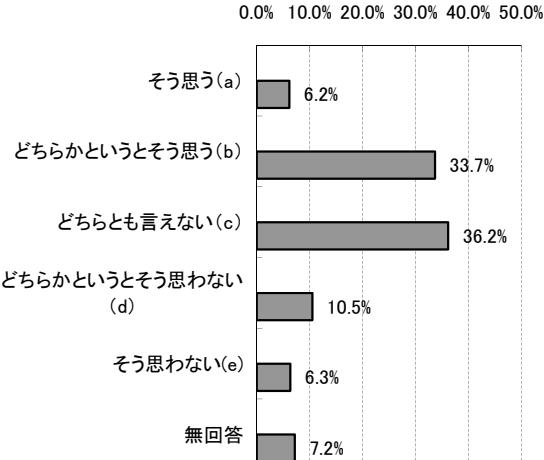
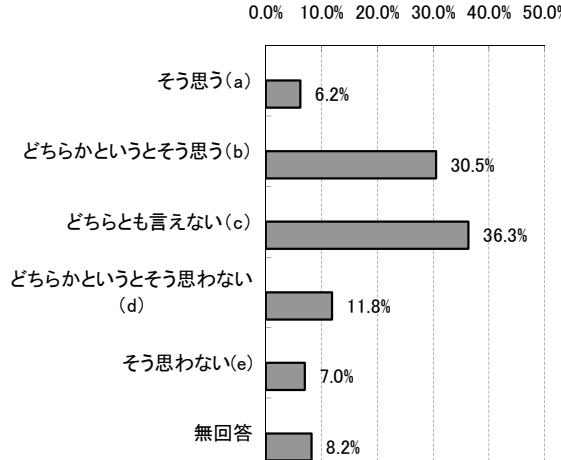
消防・防災

Q59. 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。

Q60. 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。

回答者数600

回答者数600

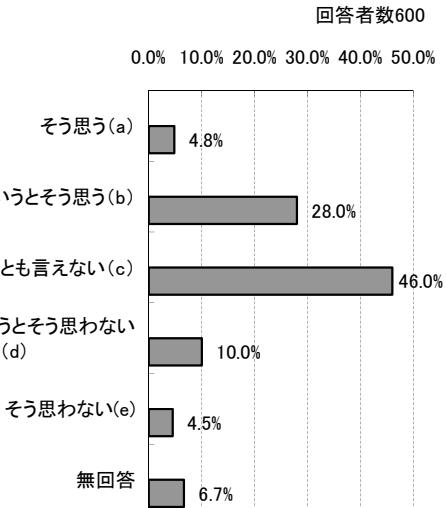
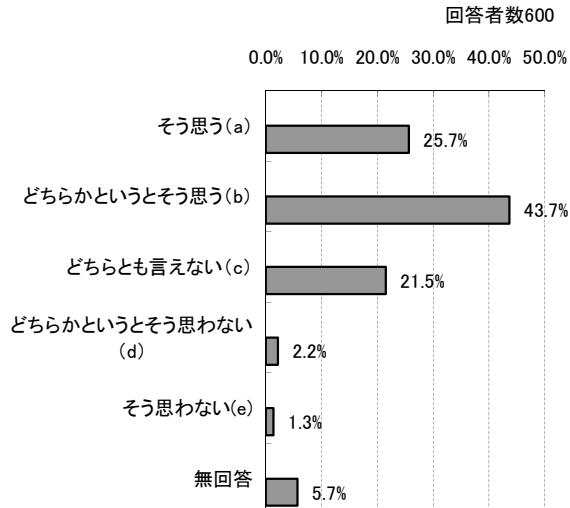


消防・防災

消防・防災

Q61. 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。

Q62. 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。

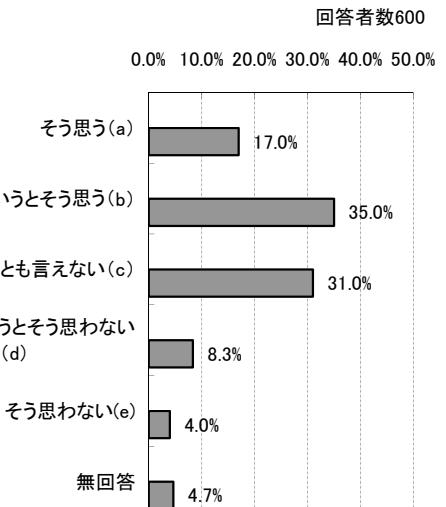
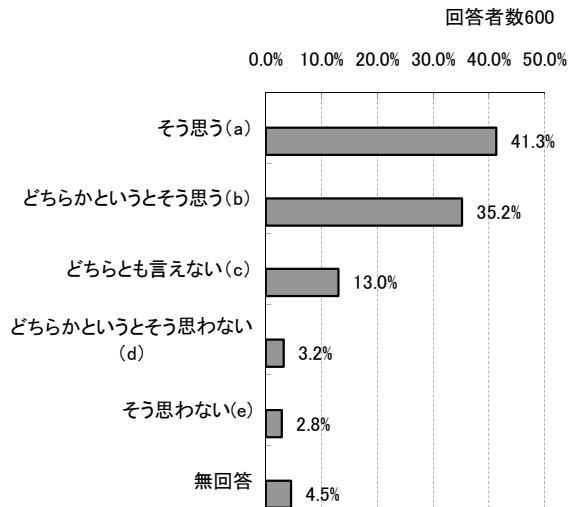


暮らしの水

暮らしの水

Q63. 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。

Q64. 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。



ぐらしの水

Q65. 水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。

回答者数600

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%

